

## 工学研究科 環境開発工学専攻 博士後期課程

### 【教育目標】

「環境開発工学専攻」では、以下のような教育目標を掲げる。

- (a)研究結果が自然や社会に与える影響について幅広く考え、良識と高い倫理感を持つ。
- (b)都市基盤の構築・再生、都市環境の創生・保全、自然災害に強い都市構造の形成および循環型社会の実現に寄与する能力を持つ。もしくは、魅力的で望ましい都市環境の構築・デザインに関する能力を持つ。
- (c)国際的な視野を持つ。
- (d)社会全体の変化、都市創造・再生や環境に対する社会の要請に柔軟に対応できる。
- (e)自主的に課題を探究し、理論的または実証的裏付けのある独創的な解決策を見出すことができる。

### 【ディプロマ・ポリシー】

「環境開発工学専攻」では、定められたカリキュラムに関して大阪産業大学大学院学則に示された要件を満たした上で、博士論文の審査に合格し、教育目標に定めた能力を身につけたと判断される学生に対して博士（工学）の学位を授与します。

### 【カリキュラム・ポリシー】

「環境開発工学専攻」では、教育研究上の目的に示された人材を育成するため、環境開発工学分野に関する専門的なコースワーク科目群を開講するとともに、都市や地域に関する課題を自主的に解決できる能力を育成するためのリサーチワーク科目を提供します。

### 【アドミッション・ポリシー】

環境開発工学専攻は「都市創造工学」、「環境デザイン学」の2分野で構成され、環境開発工学分野における先端的、かつ学際的な教育・研究を実施します。そのため、本専攻では次のような人材を求めます。

（求める学生像）

- (1)「都市創造工学」、「環境デザイン」の分野において高い専門性を有し、さらに高度な研究活動を志す人。
- (2)環境開発工学分野に関する総合的な技術に興味を持つと共に、社会におけるさまざまな疑問や未解明のことがらを探究し、柔軟な発想と深い洞察力をもって課題の発見・解決に積極的に取り組む意欲を持っている人。
- (3)高度な専門性を継続的に発展させながら、それらを必要とする職務を担い、広く社会に貢献しようとする人。
- (4)研究倫理と規範に基づき、環境開発工学の多面的な深化を目指す人。

（選抜方法）

求める学生像(1)～(4)を満足することを確認するため、筆記試験、面接試験、出願書類の審査結果の各々に対して、論理的思考、論述能力、研究推進能力等の多角的な評価を行い、総合して選考します。

改 正 2021年4月28日